

令和元年度土地利活用モデル大賞の受賞について

10月30日、一般財団法人都市みらい推進機構が主催した「令和元年度土地活用モデル大賞」において、東松島市及び(株)貴凜庁が最高賞の「国土交通大臣賞」を受賞しました。

この賞は、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、成功モデルとなる事例を募集し、優れた事例表彰するものであり、今回、旧野蒜小学校を活用して(株)貴凜庁が設置した「防災体験型宿泊施設 KIBOTCHA(キボッチャ)」の取組が評価されたものです。

本市は東日本大震災の影響で統合移転した旧野蒜小学校の校舎と敷地を(株)貴凜庁へ貸与し、同社は、この施設を活用し、防災と観光の両面からのアプローチによって持続可能な土地活用を実現しています。

KIBOTCHA は昨年7月の本格オープン以降、今年8月まで施設利用者数が77,465人を数え、本市の代表的な観光・宿泊スポットとなっていますので、取材方どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 受賞式

- (1) 主催者 一般財団法人都市みらい推進機構（後援：国土交通省）
- (2) 受賞月日 令和元年10月30日(水)
- (3) 授与場所 国土交通省本庁(大臣政務官室)
- (4) 受賞プロジェクト 防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」
- (5) 受賞者 (株)貴凜庁・東松島市
- (6) 実施目的

活気に満ちた地域社会の実現・地方創生の推進を図るため、生活サービスを効率的に提供する拠点機能をコンパクト化し、地域の雇用や豊かな生活環境を創出する総合的・効果的取り組みを推進することが求められています。当機構では、平成16年度の第1回以降、こうした課題を踏まえて土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、「成功モデル」となる事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行っております。

2 受賞報告

- (1) 日時 令和元年11月12日(月)14時から
- (2) 場所 東松島市本庁舎2階 応接室

キボッチャ
防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」

宮城県東松島市／平成 30 年竣工

- 「KIBOTCHA（キボッチャ）」は、人口約 4.0 万人の宮城県東松島市において、東日本大震災で被災し現地復旧できず移転した小学校跡を「防災体験型宿泊施設」として活用するプロジェクトです。
- このプロジェクトは、被災後に土地利用の制限が課されたエリアのなかで、廃校利用を超えた新しい土地活用にチャレンジする取組であり、宿泊施設、研修ルーム、体験学習スペース、レストラン、入浴施設などを整備・運営するものです。
- 防災の視点を軸としつつ、地元企業に積極的に活用される研修事業や、市民農園、BBQイベントなど地域密着の施設運営にも注力し、「奥松島産牡蠣」などの地域の特産物を活用したイベント等による他市他県からの集客にも取り組んでいます。
- 本プロジェクトは、きわめて独創性の高い取組であるものの、防災教育の観点に基づく施設運営や取組内容は汎用性があり、また、高台への防災集団移転が行われた地域である等の限られた条件のなかで、地域の重要課題である防災と観光の両面からのアプローチによって持続可能な土地活用を実現している廃校活用のモデル事例です。

事業概要

- 所在地：宮城県東松島市野蒜字亀岡 80 番地 旧野蒜小学校
- 土地面積：約 15,000 m²（施設面積：約 2,600 m²）※その他、バーベキュー施設用地 約 10,000 m²
- 事業主体：貴凜庁株式会社（管理運営主体：貴凜庁株式会社）
- 主要施設：レストラン、入浴施設、体験学習スペース、宿泊室、研修ルーム等（旧校舎）
バーベキュー施設、市民農園、駐車場（旧校庭）
- 事業スキーム等：
 - ・ 定期建物賃貸借
 - ・ 自己資金・宮城県沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業補助金



被災時の校舎（1階天井近くまで浸水）



現在の校舎



体験ゾーン



防災教育キャンプ